

科目名	実践経済演習 Practical Seminar on Economics						
科目担当者	墨 昌芳 SUMI Masayoshi/萩原 駿史 HAGIHARA Toshifumi/宮下 稔規 MIYASHITA Toshiki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義/演習	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>本講義では、ビジネスや行政の現場で活用が進んでいるゲーム理論、行動経済学、計量経済学といった実践的な経済学の理論を学習します。特に、それぞれの学問の基礎概念だけではなく、それぞれの学問が社会でどのように活用され、役立てられているかを学びます。また、学習した理論を活かす実践事例として宮崎市の一歩街で開かれている街市へのフィールドワークを行います。受講者には事前学習とフィールド調査を踏まえて、街市での売り上げ増加につながるプランを発表してもらいます。</p>						
授業の到達目標	<p>①実践的な経済学の理論を理解し、ビジネスや行政の現場など様々な分野で活用できるようになる。 ②フィールドワークを通じて関係者とのコミュニケーション力やプレゼンテーション力の向上を図り、地域振興における実践的な学びの基礎的な素養を身に着ける。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス：今後の講義概要、経済学（主にミクロ経済学）の復習					
	2	実践的な経済理論（ゲーム理論の応用分野）：マッチング理論 マーケットデザインとは					
	3	ゲーム理論の活用例①：新型コロナウイルスなどの感染症のワクチン配布					
	4	ゲーム理論の活用例②：保育園の待機児童問題、学校選択問題					
	5	実践的な経済理論（行動経済学）：行動経済学を活かしたビジネスへの応用事例（スーパー、コンビニなど）					
	6	行動経済学の活用例①：ナッジ理論、自治体の採用事例（公衆衛生、消費者教育、税の徴収など）					
	7	行動経済学の活用例②：非合理バイアスと関連する投資行動（行動ファイナンス）					
	8	実践的な経済理論（計量経済学）：自然実験法（ランダム化比較試験、RD デザイン、傾向スコア）とは何か					
	9	自然実験法の活用例①：最低賃金の引き上げは雇用にどのような影響を与えるのか？					
	10	自然実験法の活用例②：どのような教育法が人々の進学や生涯所得に影響するか？					
	11	フィールドワークの事前準備					
	12	一歩街 街市でのフィールドワーク					
	13	フィールドワーク振り返り・グループディスカッション					
	14	街市での売り上げ増加プランの発表					
	15	街市での売り上げ増プランの発表・課題レポートの作成・提出					
授業外学修 (事前学修)	フィールドワークのための準備を行う（15時間程度） 発表のための準備を行う（15時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	授業内容について分からない点などを復習し、不明点を調べておく（毎週1時間程度、合計15時間） 課題を作成する（15時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	レポート試験				50%	①、②	
課題の提出				30%	①、②		
プレゼンテーション				20%	①、②		
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	教科書は特に使用しない。教材を必要に応じて配布する。また、必要に応じて新聞記事や最新の論文を配布する。						
参考文献	3名の教員が授業の中で参考文献を紹介する。						
その他							